

兵庫県豊岡市但東町

# 日本・モンゴル民族博物館年報

第10号 (平成19年度)

Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum  
No.10 (for the fiscal year of 2007)

# あ い さ つ

平成 17 年 4 月 1 日に 1 市 5 町が合併し、3 年が経過しました。日本・モンゴル民族博物館も平成 8 年 11 月に開館してから早いもので 11 年を迎えました。

平成 19 年度は、企画展や講演会、講座、出前授業などの普及活動、ホームページの更新などによる情報発信を行ってきました。中でも企画展は 4 回開催し、これまで企画展の開催は 38 回をかぞえ、博物館がその 11 年の中で備蓄してきた貴重な文化資本を広く市民に公開してきました。

私事で恐縮ですが、この程、モンゴル国国家大会議議長 D. ルンデージャンツァンが訪日された際、「ナイラムダル（友好）」勲章をいただきました。これは、昨年 2 月にも豊岡市副市長の奥田清喜氏（元但東町長）が同様の勲章をモンゴル国から贈られています。この友好勲章は、モンゴルとの交流発展に貢献した外国人に授けられる最高勲章のひとつであり、旧但東町から 2 名の叙勲者があったことは、たいへん栄誉あることだと誇りに思います。社会に開かれた小所帯の博物館として、お支え願っている多くの関係する皆さんや地域の方々の深いご理解とご支援の賜物と思っています。

さて、博物館が所蔵する豊富な資料は、貴重な資料であるだけでなく、新たに活用されるべき資源でもあります。この資料を使ってどのように情報を提供し、地域や社会に対して貢献できるのか。そのことに十分に力を注かせなければならないと考えています。

地域振興、活性化に寄与するのはもちろんですが、何よりも博物館活動の主役は利用者であることを念頭に置いて豊岡市民をはじめ、多くの皆様と協働し、進化を続ける博物館づくりに努める所存です。

平成 20 年 3 月 31 日

日本・モンゴル民族博物館

館長 金津 匡 伸



(平成 19 年度モンゴル国研修生受入事業)

# 目 次

I. 平成 19 年度概要	3	VI. 管理運営	12
II. 展覧事業	3	1. 組織・職員	
1. 常設展		2. 予算の概要（決算額）	
2. 企画展		3. 利用状況	
III. 資料収集保存事業	6	4. 施設管理	
1. 寄贈		5. 博物館協力会	
2. 資料の貸出		6. 各種委員会委員等の受諾	
3. 資料の燻蒸		7. 博物館ネットワーク	
IV. 普及教育事業	8	8. 博物館日誌抄	
1. 出前授業		9. お客様の声から抜粋	
2. 体験教室・講座の開催		10. 日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に 関する条例	
3. 講師派遣		11. 施設概要	
4. 教員のための研修		12. 交通案内	
5. 「トライやるウィーク」の受入		13. 利用案内	
6. 情報の発信と公開		あとがき	25
V. 国際交流事業	11		
1. モンゴル国との国際交流			
2. モンゴル国研修生の受入			

# I. 平成 19 年度概要

平成 19 年度は当館の事業として、展示活動や資料収集・調査、施設管理、教育普及活動を中心とした博物館運営業務、地域文化財の調査及び保護を行う文化財保護業務、モンゴル国との国際交流を推進する国際交流事業の 3 事業に取り組んできた。

博物館運営業務のうち、企画展示は 4 回行い、チンギス・ハンとモンゴル建国 800 年、市の両生類であるオオサンショウウオ、鳥の造形に焦点を絞った世界の工芸品、但馬地域の習俗など様々なテーマに取り組んだ。普及活動では体験教室や出前授業に積極的に取り組んだ。出前授業は 1,200 名を越える子供たちを対象に授業を行い、成果として着実に地域の中へモンゴル国の歴史文化や博物館の取り組みが浸透してきているものと考えている。

文化財保護業務での取り組みとしては、出石川水系のオオサンショウウオに関する助言や学習会支援、文化財防火デーでの消防訓練の実施、矢根地区・奥矢根地区の古文書調査への協力等を行った。

国際交流事業としては、豊岡市主催の平成 19 年度モンゴル訪問団への協力、21 世紀東アジア青少年大交流計画への協力、近畿日本ツーリスト主催の「モンゴル博物館長と行くモンゴルの旅」への事業協力を行っている。また、モンゴル文化の普及と国際理解学習の発展を目的に民族音楽コンサートの実施等を行った。

当年度の利用者数は 17,136 名で、特別展の実施や開館 10 周年記念行事を行った前年度と比較すると大きく減少している。開館日数は 310 日であり、1 日あたりの平均利用者数は 56 名であった。より多くの方に当館の持つ情報を伝達し、地域の学習機会の増加につながるよう、更なる利用促進に努めねばならないと考えている。

## II. 展覧事業

### 1. 常設展

#### (1) 常設展示の構成

博物館の常設展示は、A 棟のたんとうの森、B 棟のアジアの歴史と風土・モンゴル草原のいのり、C 棟のモンゴル草原の暮らしと文化、伝承文化体験交流館の豊岡市たんとうの暮らしから成っている。

- ① たんとうの森……人口樹木を配し、平安時代前期の朽木仏像 5 体を展示
- ② アジアの歴史と風土……新石器時代から近代に至るまでの歴史資料を展示
- ③ モンゴル草原の暮らしと文化……ゲルとよばれる移動式住居を中心に衣・食・住など様々なテーマに分けて展示
- ④ モンゴル草原の祈り……チベット仏教の寺院を再現し、仏像・仏具等を展示
- ⑤ 伝承文化体験交流館……”山里の暮らしと文

化” をテーマに、豊岡の歴史・住まい・暮らし・民話などを展示

#### (2) 常設展の更新

昨年度に開催した恐竜展で大幅な展示資料の交換を行ったことから、現行常設展の手直しを行い、より変化の見えるかたちに変える。

- ① アジアの歴史コーナー  
鉾石標本・恐竜化石の展示を移動し、解説パネルの変更を行った。
- ② モンゴル草原の暮らしと文化  
民族衣装や装飾品を中心に展示資料の一部入れ替えを行った。
- ④ モンゴル草原のいのり  
展示資料の一部入れ替えを行った。
- ⑤ 伝承文化体験交流館の歴史コーナー  
展示室全体に但馬の昔語りを流し、より身近に郷土の歴史や文化を体感できるよう変更した。

## 2. 企画展

### (1) 第35回企画展

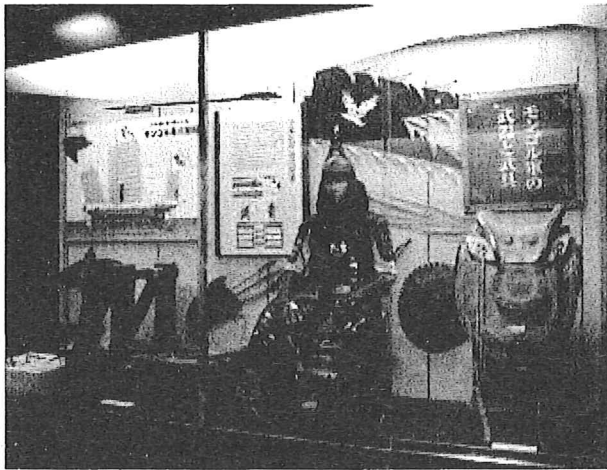
チンギス・ハンとモンゴル建国 800 年

平成 19 年 4 月 19 日～平成 19 年 7 月 17 日

79 日間 (見学者数: 3,832 人)

この展示では、当館が所蔵するモンゴル関係資料を時系列に沿い、紀元前 3 世紀頃にモンゴル高原に現れた騎馬民族「匈奴」の時代から現在のモンゴルまでを概観できる展示構成とした。

また、この年は日本とモンゴル国が外交関係を樹立して 35 周年を迎える年であると同時に、チンギス・ハンがモンゴル帝国を建国して 800 年を迎える記念の年でもあった。このため双方の国で両国を紹介するイベントが盛んに行われ、当館もこの活動の一環として本展を開催したものである。



第 35 回企画展 展示風景



第 35 回企画展 展示風景

### (2) 第36回企画展

生きている化石 オオサンショウウオ

平成 19 年 7 月 19 日～平成 19 年 9 月 11 日

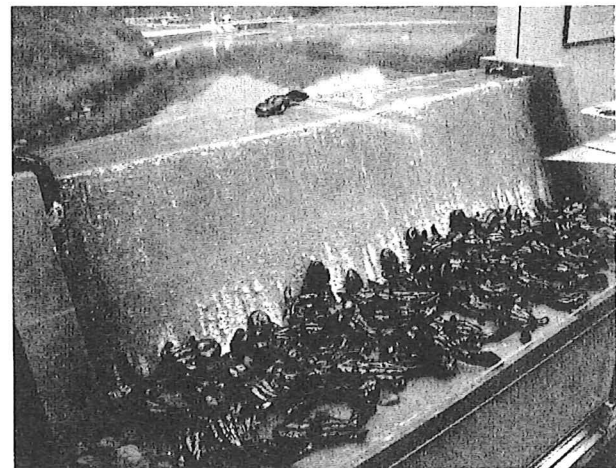
48 日間 (見学者数: 2,946 人)

国の天然記念物であるオオサンショウウオは、2004 年の台風 23 号で出石川下流へ流され、約 400 匹を日高町の池に避難させ保護活動が続けられている。

本展は、生きた化石として全長約 1.8 m の模型を展示した。また、その生態や保護活動についてもパネルを使って解説した。パネルや模型で、魚のほか、カエル、ネズミ、ヘビなど目の前を通り過ぎたものすべてを食べる習性も紹介した。さらに、魚をくわえた頭部や脚部を拡大した模型を並べ、水の震動を感じる感覚器「側線」を使って餌を捕まえることや、脚が短く陸上では体を支えきれないことなどを学ぶ機会となった。



第 36 回企画展 展示風景



展示資料 井堰の下に流されたオオサンショウウオ

### (3) 第37回企画展

#### 世界の鳥～その色と形～

平成19年9月13日～平成19年12月4日

72日間(見学者数: 4,281人)

本展では、世界各国の鳥の造形の中から約300点を厳選し、鳥に託した人々の願いを紹介した。民族色豊かな「世界の鳥の造形」を地域ごと、また鶏やアヒル、フクロウなど鳥の種類によってグループをわけ、世界でそれらが愛される理由について探った。あわせて、「鳥ぐるま」「ついでむ鳥」「動く鳥・鳴く鳥」と玩具の形態別に展示し、世界の鳥の玩具に共通する要素を紹介した。



第37回企画展 展示風景



第37回企画展 展示風景

### (4) 第38回企画展

#### 子の成長を願う但馬の年中行事

平成19年12月6日～平成20年4月8日

101日間(見学者数: 3,816人)

豊岡市をはじめ但馬の各地域には、人生の節目を祝い1年の健康と豊穡を願う多くの慣わしがある。子どもの儀式も数多く行われており、こうした営みには健やかな成長を願う親の祈りが込められている。しかしながら、これらの行事は時代とともに変容し、現在ではほとんど見られなくなっている。本展では、こうした習俗に用いる民俗資料をもとに、子どもにまつわる1年間の慣わしを通し、後世に伝えるべき伝統文化として但馬の風習と、変わることもない親の祈りを紹介した。

展示ケースを「冬—春 ひなまつり」、「初夏 端午の節句」、「夏—秋 七夕と秋まつり」、「子供の通過儀礼」の4つに分けて、出石神社で行われる「幟まわし」に用いられる武者幟や、養父市葛畑で製作されていた土雛等、計60点の資料を展示した。



第38回企画展 展示風景



第38回企画展 展示風景

### III. 資料収集保存事業

当館が所蔵している資料は約2万点以上に及ぶ国内外の資料で構成されている。寄贈されたモンゴル民族資料1万5千点、考古資料5千点を基礎資料としながら、旧但東町民俗資料館が収集保管してきた資料、また個人が大切に保管されていたもので寄贈又は寄託いただいたもの、モンゴル国内や全国各地から寄贈いただいた資料を

収蔵している。

資料の収集は、寄贈・寄託・購入・採集・交換など、さまざまな方法で行っている。当館はモンゴルの自然や歴史・民族・文化に関する資料を収集するとともに、それぞれの分野でのテーマに応じ、比較資料となる国内外の資料も収集対象としている。

#### 1. 寄 贈

##### (1) 寄贈資料（敬称略）

受 入 日	氏 名	住 所	資 料 名	数 量
平成19年4月12日	(株)朱鷺書房	大阪府大阪市	書籍『モンゴルのストリートチルドレン』	1
平成19年5月5日	薛 秋男	兵庫県豊岡市	プレスレット	1
			デール	1
			帯	1
平成19年5月6日	東井 浴子	兵庫県豊岡市	書籍『東井義雄伝』	1
平成19年10月6日	長田 均	兵庫県朝来市	プレーリードッグ	8
平成19年10月6日	S. デンベレル	モンゴル国	シャガイ袋入り(牛)	5
			アイロン	2
			のし	1
			アラグ	1
			サワル	1
			木製臼	1
			シャガイ(羊)	100
平成19年10月7日	三多 隆志	兵庫県	DVD「大モンゴル6日間の旅」	1
			CD「IKH GAZAR-Mongolian folk melody」	1
平成19年10月11日	水谷 東洋	兵庫県豊岡市	書籍『内蒙古文物考古』創刊号	1
			書籍『内蒙古文物考古』第四期	1
平成19年10月14日	フフデリゲリ	兵庫県神戸市	煙草入れ(刺繍入り)	1
			牛皮製絵画	1
平成19年10月21日	マンチン・エルデネバト	モンゴル国	書籍『Fishes of Mongolia』	1
			書籍『Mongolian Red List of Fishes』	1
			書籍『Summary Conservation Action Plans for Mongolian fishes』	1
平成19年10月21日	山口 史郎	兵庫県豊岡市	書籍『丹後但馬震災書報』	1
			わらぞうり	10
平成19年11月17日	JENESYSモンゴル国研修生	モンゴル国	絵画	1

## (2) 図書・図録等寄贈者一覧 (敬称略・順不同)

### 【団体】

#### ●兵庫県内

多可郡多可町教育委員会 (那珂ふれあい館)、兵庫県公館県政資料館、大手前大学史学研究所、加西市教育委員会、播磨町郷土資料館、神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター、朝来市教育委員会、河東市教育委員会、兵庫県立歴史博物館、太子町立歴史資料館、兵庫県立人と自然の博物館、植村直己冒険館、たつの市立龍野歴史文化資料館、西脇市郷土資料館、赤穂市立歴史博物館、篠山市立歴史美術館、福崎町立神崎郡歴史民俗資料館、あさご芸術の森美術館、兵庫県立考古博物館、加古川総合文化センター、明石市立文化博物館、兵庫県立歴史博物館、兵庫陶芸美術館

#### ●京都府

城陽市歴史民俗資料館、京都府ふるさと文化再興事業推進実行委員会事務局、与謝野町立江山文庫、京都府立丹後郷土資料館、大山崎町歴史資料館

#### ●その他

国立歴史民俗博物館、静岡大学人文学部、呉市海事歴史科学館、愛知県豊川市教育委員会、松代文化施設等管理事務所、天理大学附属天理参考館、滋賀県立大学、北海道立北方民族博物館、(株)朱鷺書房

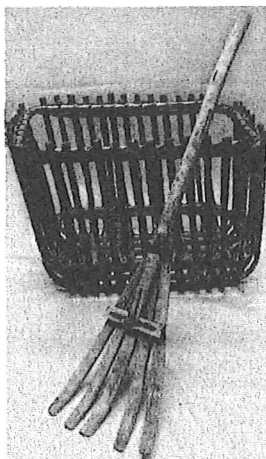
## 2. 資料の貸出

- ① 淀逸郎 (豊岡市)  
民族衣装 1点
- ② 福知山市教育委員会  
ゲル 1基
- ③ 豊岡市教育研修センター  
文化財写真 5点、CD 1点
- ④ (株)シルク温泉やまびこ  
井堰模型 1点、オオサンショウウオ (焼物 10体、模型 1点、巣穴模型 1点)、着ぐるみ 1点
- ⑤ 豊岡市立高橋小学校  
井堰模型 1点 オオサンショウウオ (焼物 22体、巣穴模型 1点、石の模型 12個、卵の模型 1点)
- ⑥ 豊岡土木事務所  
オオサンショウウオ着ぐるみ 1式
- ⑦ 福住地区公民館  
オオサンショウウオ焼物 2体
- ⑧ 久保田明憲  
馬頭琴 1式、子ども用デール 1点、帽子 1点、帯 1点
- ⑨ (株)天夢人 temjin  
チンギス・ハン肖像画像 1点、投石器の復元模型画像 1点

## 3. 資料の燻蒸

平成19年度は年2回、害虫駆除センター・クリーン有限会社にて全館を対象にピレスロイド系殺虫剤、有機リン系の乳剤を噴霧し、殺虫・防虫処理をした。

また、収蔵庫内においても年3回蒸散剤を設置し殺虫・防虫処理を実施している。



### 5. デンベレル氏寄贈資料

右：アラグ (燃料用糞かご) とサワル (専用の熊手)  
左：木製臼

## IV. 普及教育事業

### 1. 出前授業

学校からの依頼に応じて、学校での授業に職員を派遣する出前授業を平成12年度から実施している。授業では教員と協同し持参した博物館資料を活用するなどをを行い、児童・生徒の理解を助けるよう工夫した。

平成19年度は豊岡市および近隣の但馬管内の学校を中心に、幼稚園・小学校・中学校・高等学校計32校で合計1,268人を対象に出前授業を実施した。

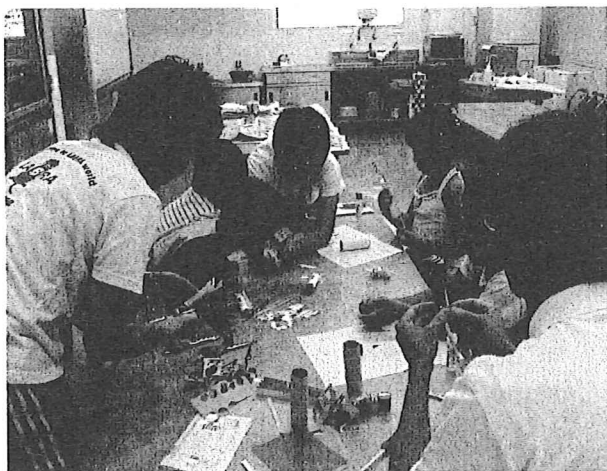
- |          |                     |            |  |  |  |
|----------|---------------------|------------|--|--|--|
| ① 6月22日  | 豊岡市立高橋小学校           | 3・4年生 15名  |  |  |  |
|          | 「オオサンショウウオを学ぶ」(金津)  |            |  |  |  |
| ② 11月9日  | 豊岡市立資母小学校           | 5年生 14名    |  |  |  |
|          | 「農村芝居小屋から学ぶⅠ」(金津)   |            |  |  |  |
| ③ 11月30日 | 豊岡市立資母小学校           | 5年生 14名    |  |  |  |
|          | 「農村芝居小屋から学ぶⅡ」(金津)   |            |  |  |  |
| ④ 1月10日  | 福知山市立佐賀小学校          | 全校生 44名    |  |  |  |
|          | 「モンゴルの暮らしと文化」(渡辺明)  |            |  |  |  |
| ⑤ 1月11日  | 京丹後市立湊小学校           | 2年生 13名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(柴田)       |            |  |  |  |
| ⑥ 1月29日  | 朝来市立東河小学校           | 2年生 20名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(橋本)       |            |  |  |  |
| ⑦ 2月1日   | 京丹後市立長岡小学校          | 2年生 14名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(橋本)       |            |  |  |  |
| ⑧ 2月4日   | 朝来市立大蔵小学校           | 2年生 35名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(山本)       |            |  |  |  |
| ⑨ 2月5日   | 養父市立八鹿小学校           | 2年生 41名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(山本)       |            |  |  |  |
| ⑩ 2月7日   | 豊岡市立港東小学校           | 2年生 11名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(柴田)       |            |  |  |  |
| ⑪ 2月8日   | 県立多可高等学校            | 2年生 120名   |  |  |  |
|          | 「モンゴルに学ぶ自然との共生」(金津) |            |  |  |  |
| ⑫ 2月8日   | 養父市立養父小学校           | 2年生 21名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(渡辺律)      |            |  |  |  |
| ⑬ 2月14日  | 朝来市立山口小学校           | 2年生 41名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(渡辺明)      |            |  |  |  |
| ⑭ 2月15日  | 豊岡市立三方小学校           | 2年生 29名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(柴田)       |            |  |  |  |
| ⑮ 2月18日  | 豊岡市立城崎小学校           | 2年生 19名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(渡辺律)      |            |  |  |  |
| ⑯ 2月19日  | 豊岡市立豊岡小学校           | 2年生 89名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(渡辺明)      |            |  |  |  |
| ⑰ 2月21日  | 豊岡市立高橋小学校           | 2年生 10名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(渡辺律)      |            |  |  |  |
| ⑱ 2月22日  | 豊岡市立五荘小学校           | 2年生 121名   |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(山本)       |            |  |  |  |
| ⑲ 2月24日  | 豊岡市立資母小学校           | 全校生 98名    |  |  |  |
|          | 「モンゴルの民族音楽」(外部講師)   |            |  |  |  |
| ⑳ 2月24日  | 豊岡市立合橋小学校           | 2年生 13名    |  |  |  |
|          | 「モンゴルの民族音楽」(外部講師)   |            |  |  |  |
| ㉑ 2月24日  | 豊岡市立但東中学校           | 1年生 52名    |  |  |  |
|          | 「モンゴルの民族音楽」(外部講師)   |            |  |  |  |
| ㉒ 2月25日  | 豊岡市立八条小学校           | 2年生 48名    |  |  |  |
|          | 「モンゴルの民族音楽」(外部講師)   |            |  |  |  |
| ㉓ 2月25日  | 豊岡市立三江小学校           | 2年生 33名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(橋本)       |            |  |  |  |
| ㉔ 2月28日  | 香美町立兎塚小学校           | 2年生 14名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(柴田)       |            |  |  |  |
| ㉕ 2月29日  | 朝来市立竹田小学校           | 2年生 28名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(渡辺明)      |            |  |  |  |
| ㉖ 3月3日   | 京丹後市立大宮第1小学校        | 2年生 100名   |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(渡辺律)      |            |  |  |  |
| ㉗ 3月4日   | 豊岡市立田鶴野小学校          | 2年生 43名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(渡辺律)      |            |  |  |  |
| ㉘ 3月6日   | 豊岡市立奈佐小学校           | 2年生 16名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(渡辺律)      |            |  |  |  |
| ㉙ 3月9日   | 豊岡市立図書館             | 幼児・保護者 74名 |  |  |  |
|          | 「モンゴルのおはなし」(山本)     |            |  |  |  |
| ㉚ 3月10日  | 京丹後市立鳥取小学校          | 2年生 23名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(渡辺明)      |            |  |  |  |
| ㉛ 3月11日  | 朝来市立中川小学校           | 2年生 27名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(柴田)       |            |  |  |  |
| ㉜ 3月14日  | 朝来市立粟鹿小学校           | 2年生 17名    |  |  |  |
|          | 「スーホの白い馬」(渡辺明)      |            |  |  |  |

## 2. 体験教室・講座の開催

開催日、教室・講座名、講師名、参加者数の順に記載

- ① 7月23日 革細工に挑戦  
博物館職員 1名
- ② 7月26日 おもちゃを作って遊ぼう  
博物館職員 7名
- ③ 7月27日 オリジナルマグカップをつくろう  
博物館職員 10名
- ④ 7月31日 オオサンショウウオの土鈴作り  
博物館職員 6名
- ⑤ 8月2日 手作りおもちゃ〜羽をひろげる鳥をつくろう！  
博物館職員 4名
- ⑥ 8月2日 川の学校  
博物館職員 13名
- ⑦ 8月3・4・5日 オオサンショウウオちびっこ博士になろう  
但馬国府国分寺館館長・博物館職員  
9名
- ⑧ 8月13日 七宝焼に挑戦  
博物館職員 14名
- ⑨ 8月17日 勾玉作り  
博物館職員 17名
- ⑩ 8月24日 工作教室〜木で鳥を作る  
博物館職員 5名
- ⑪ 11月25日 クリスマスリース作り  
博物館職員 5名
- ⑫ 12月9日 革のキーホルダー作り  
博物館職員 3名

合計 12講座 94名



手作りおもちゃ〜羽をひろげる鳥をつくろう！



川の学校



オオサンショウウオの土鈴作り

## 3. 講師派遣

館外からの依頼を受けて行った講師派遣等を、月日・担当者・依頼者・内容の順に記す。なお、小・中学校からの依頼による出前授業については、普及教育事業1. 出前授業に記載している。

- ① 5月10日 金津匡伸 豊岡北中トライやるウィーク推進委員会  
『さまざまな仕事（博物館）』
- ② 5月22日 金津匡伸 兵庫県いなみ野学園大学講座  
『地方に暮らして世界を視る』
- ③ 6月7日 金津匡伸 但馬地区公民館連絡協議会  
『草原の国モンゴル』
- ④ 6月22日 金津匡伸 豊岡市立高橋小学校  
『オオサンショウウオについて学ぶ会』
- ⑤ 7月12日 金津匡伸 県立学校但馬地区教頭会  
『日本とモンゴルの現状と未来』
- ⑥ 7月14日 金津匡伸 豊岡市歴史講演会  
『豊岡市の農村歌舞伎舞台』
- ⑦ 9月20日 金津匡伸 稲美町教育委員会  
『地方に暮らして世界を視る』
- ⑧ 10月31日 金津匡伸 県立出石高等学校  
『地方に暮らして世界を視る』

## 4. 教員のための研修

豊岡市教育委員会からの依頼により、市内に勤務する幼稚園・小学校・中学校教員対象の職場体験「先生のトライやる」を実施し、当館職員が指導に当たった。資料の確認、体験教室補助、窓口業務、清掃等施設管理など、博物館の通常業務を体験してもらうことによって、博物館に対する理解を高めることができた。

### 研修者

井上 徹也 教諭（豊岡市立府中小学校）

7/30、7/31、8/2

中川 郁 教諭（豊岡市立高橋小学校）

7/30、8/2、8/3

藤原 茂樹 教諭（豊岡市立日高西中学校）

8/6、8/7、8/10

小柴 美穂 教諭（豊岡市立豊岡南中学校）

8/6、8/7、8/10

## 5. 「トライやるウィーク」の受入

兵庫県では中学生が地域の事業所等で職業体験を行う「トライやるウィーク」という事業を実施している。県内の中学2年生が学校を離れ、1週間地域社会での実体験を通して学習を行う取り組みである。

平成19年度は豊岡市立豊岡北中学校の木下智江さん、松村知春さん、小林純也君、森貴洋君、西尾岳君以上5名の生徒を受け入れた。5/28～6/1の5日間、資料の写真撮影や梱包、展示変更の補助、館内外の清掃、屋外展示の環境整備、ミュージアムグッズの製作、ホームページの更新等の業務を行ってもらった。

当館では職員数の関係上、専門の職員が個別の業務のみを行うのではなく、分担して様々な業務を行っている。わずかずつではあるが、今回の職業体験ではこうした点も感じてもらえたのではないかと考えている。

### 【生徒の感想（抜粋）】

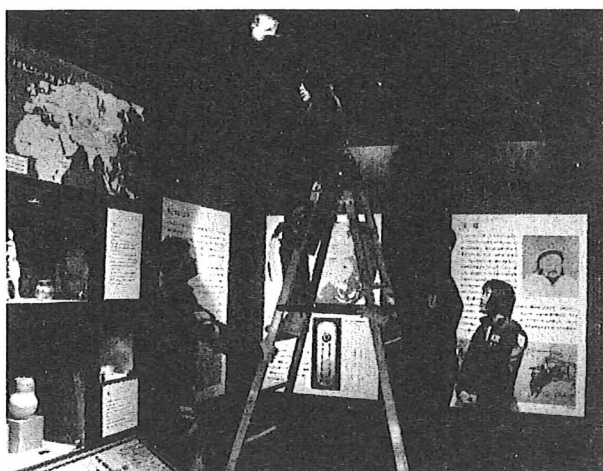
先日のトライやるウィークでは大変お世話になりました。大切な土器をさわらせてもらったり、古代人体験やヤギの世話など、他ではできない一生に一度のとても貴重な体験をさせていただき、とても楽しかったです。見る人を考えて展示をするのは難しいことだなと感じました。（木下）

日本・モンゴル民族博物館での仕事は思っていた以上に難しいものでした。しかし、博物館の方が優しく教えてくださり、少し仕事の世界に入り込めたような気がしました。私にとってこの5日間はとても大切なものとなりました。（松村）

博物館で仕事をし、初めて展示してある物などに興味を持つようになりました。指導していただいたことで、どのように仕事をしているのかよく分かりました。（小林）

先日のトライやるウィークでは大変お世話になり、ありがとうございました。博物館のことや仕事のことよく分かりました。（森）

トライやるではモンゴルの歴史、人々の生活、考え方などを学ぶことができました。いつもは見るだけの博物館ですが、内側の仕事の大変さを知ることができ、よかったです。慣れない仕事でとても緊張しましたが、この一週間で自分は成長できたと思います。この経験を活かし、中学校生活を送りたいと思います。（西尾）



「トライやるウィーク」展示室内照明交換作業

## 6. 情報の発信と公開

博物館を有効に活用する利用者が増えるよう、博物館活動に関する様々な情報を発信していくことは博物館にとって重要な活動の一つである。最近はインターネットによる情報発信も重要な手段になっている。

博物館の事業の広報に留まらず、様々なメディアを通じて積極的に情報を発信するよう努めている。

### (1) 博物館の広報活動

#### ① 博物館案内等の主な定期発送先

小学校 190校 中学校 70校 高等学校 11校  
報道関係機関等 9社

#### ② 報道機関への資料提供

#### ③ 旅行会社への資料提供

### (2) インターネットによる情報提供

#### ① 電子メール

#### ② ホームページ

インターネット利用者の増加に伴い、博物館でもその技術を活用した情報提供の可能性を探ってきた。平

成11年8月16日よりホームページを開設している。  
<http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>  
ホームページの内容は下記のとおりである。

- ・博物館の沿革と経緯
- ・交通案内・利用案内
- ・収蔵資料
- ・展示室紹介

- ・国際交流
- ・イベント情報
- ・ミュージアムショップのご案内

ホームページの更新や追加は毎月の催し物案内のように定期的に行うもののほか、各担当により随時行っている。

## V. 国際交流事業

### 1. モンゴル国との国際交流

モンゴル国との交流については、研修生の受入や豊岡市国際交流事業の協力支援、各種イベントの実施などを継続して行っている。平成19年度についても研修生の受入やモンゴル民族音楽コンサートの開催など、様々な事業を行った。

- ① 平成19年8月12日  
モンゴル留学生 ガンバートル氏来館
  - ② 平成19年10月5日～10月15日  
豊岡市国際交流協会モンゴル研修生受入（2名）
  - ③ 平成19年11月18日  
モンゴル国高校生（23名）来館
  - ④ 平成20年2月25日  
モンゴル人演奏家 ネルガイ氏、クグルシン氏の受入とミニコンサートを市内小・中学校で開催。
  - ⑤ 平成20年2月26日  
金津館長、モンゴル国政府から友好勲章（ナイラムダム・メダル）を、東京の駐日モンゴル大使館で受章。
- ※ 平成19年8月24日～8月29日 近畿日本ツーリスト  
主催「モンゴル博物館長と行くモンゴルの旅」に協力



### 2. モンゴル国研修生の受入

平成19年10月5日～13日までの9日間、豊岡市では国際交流事業の一環としてモンゴル国研修生の受入を行い、当館もこの事業に参加した。

今回、日本を訪れたのは、団長S.デンベレル氏（モンゴルー豊岡シルクロード友好協会事務局長）、副団長M.エルデネバト氏（モンゴル国立科学アカデミー生物生態研究所副所長）をはじめとした中学生8名大人4名の団体であった。子供たちのうち2名はオブス県からの参加であった。

一行は市内の学校を訪問し、同世代の子供たちとの交流を行ったり、市内のさまざまな場所を見学した。また、一般の家庭にホームステイを行い、地元の秋祭りに参加するなど、交流を通して日本の文化や習慣を学んだ。

当事業は両国の子供たちにとって相互の理解が深まる大変有意義なものとなった。今後も今回の研修生との交流が継続していくことを願っている。

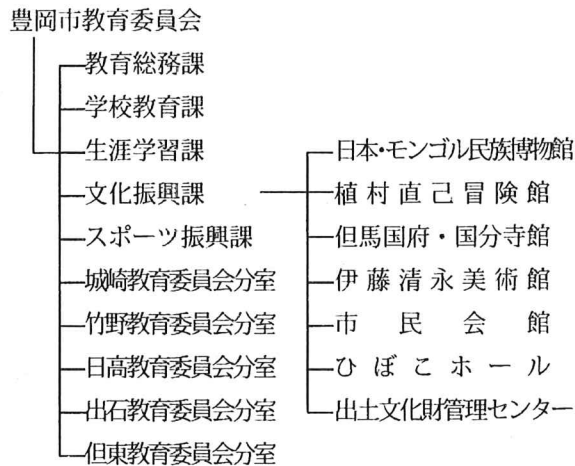


平成19年度モンゴル国研修生

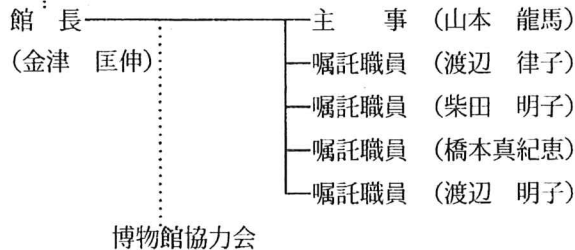
# VI. 管理運営

## 1. 組織・職員（平成20年3月31日現在）

### (1) 組織



顧問（福田 芳郎）



### (2) 職員

- 館長 金津 匡伸（平成8年11月～）  
（文化振興課参事）
- 主事 山本 龍馬（平成16年1月～）
- 嘱託職員 渡辺 律子（平成8年11月～）
- 嘱託職員 柴田 明子（平成13年4月～）
- 嘱託職員 橋本真紀恵（平成17年4月～）
- 嘱託職員 渡辺 明子（平成17年4月～）

### (3) 事務分掌

- 金津 匡伸 管理運営、常設展示・企画展示に関する事、講師の派遣に関する事、モンゴル国との国際交流、モンゴル関係団体との連絡調整、文化財の調査研究、文化財保護に関する事
- 山本 龍馬 館の庶務、歳入歳出及び経理、常設展示、企画展示、出前授業及び講師派遣に関する事、教室・講習会の開催
- 渡辺 律子 歳入歳出及び経理、受付及び案内、常設展示・企画展示に関する事、館内

外の管理に関する事

- 柴田 明子 ミュージアムショップに関する事、受付及び案内、各種教室・講習会の開催、館内外の管理に関する事
- 橋本真紀恵 文書の管理、受付及び案内、博物館協力会に関する事、館内外の管理に関する事
- 渡辺 明子 文書の管理、受付及び案内、ホームページの管理、館内外の管理に関する事

## 2. 予算の概要（決算額）

単位：千円（百円以下四捨五入）

[人件費] 17,070

- ①報酬 5,555（嘱託職4名）
- ②給与 5,496（一般職2名）
- ③職員手当等 4,178（扶養手当318、調整手当313、通勤手当223、時間外勤務手当195、管理職手当443、期末手当2,045、勤勉手当509、寒冷地手当132）

④共済費 1,841

[管理費] 10,600

- ①旅費 92
- ②需用費 7,677（消耗品費830、燃料費104、印刷製本費247、光熱水費5,798、修繕料661、飼料費37）
- ③役務費 491（通信運搬費398、保険料・共済基金分担金93）
- ④委託料 1,475（電気保安点検185、自動ドア点検58、消防設備点検14、芝生管理300、全館・外壁清掃346、警備270、資料燻蒸223、除雪79）

⑤使用料 786

⑥備品購入費 29

⑦負担金、補助及び交付金 31

⑧公課費 19

[活動費] 2,162

①報償費 100

②旅費 13

③需用費 1,492（消耗品費1,490、食糧費2）

④役務費 50（通信運搬費50）

⑤委託料 500（企画展览展示設営業務500）

⑥使用料 7（通行料7）

### 3. 利用状況

当館は平成8年11月3日に開館し、利用者数は平成20年3月末累計で327,582名となった。平成19年度は開館日数が310日で、計17,136名であった。

平成19年度利用者数は前年度と比較し大きく減少しているが、これは平成18年度に行った特別展等の

影響によるものと考えている。但し、特別展を開催した前年度を除いても年々減少傾向にあり、今後はより多くの方に活用していただけるよう努めていかねばならないと考えている。

利用者数の推移及び内訳は以下のとおりである。参考として過去の利用者状況も記載する。

#### 【平成16年度（開館日：308日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民	389	261	280	450	571	313	227	361	229	181	178	276	3,716
一般	2,307	1,073	674	488	857	612	683	557	441	330	490	611	9,123
高大	18	29	3	13	50	30	5	6	13	1	14	5	187
小中	336	120	10	32	120	32	14	16	15	22	89	130	936
その他	2,941	528	360	471	526	173	341	461	227	177	683	454	7,342
計	5,991	2,011	1,327	1,454	2,124	1,160	1,270	1,401	925	711	1,454	1,476	21,304
1日平均	222	75	53	54	79	45	47	54	40	31	61	57	69

#### 【平成17年度（開館日：308日）】

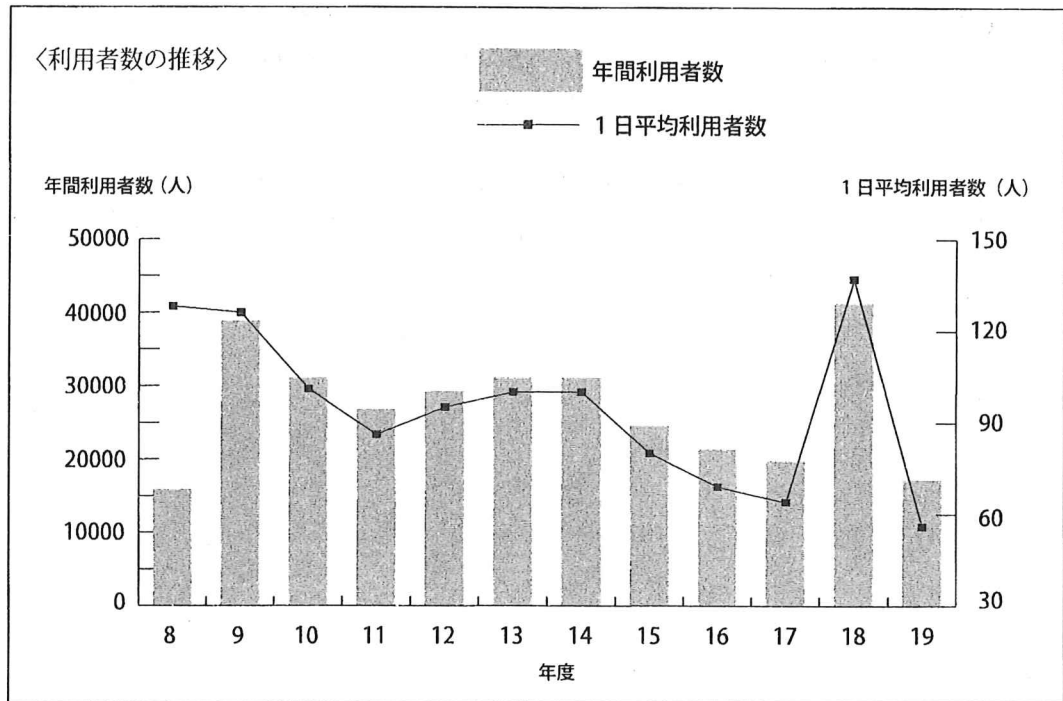
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民	263	204	209	270	456	247	271	298	146	72	114	297	2,847
一般	1,486	905	572	464	749	444	723	571	344	224	503	592	7,577
高大	14	7	3	10	48	14	17	5	0	2	9	38	167
小中	603	81	18	59	142	27	24	8	14	14	41	73	1,104
その他	4,718	383	287	210	505	141	301	560	167	160	602	573	8,067
計	6,544	1,580	1,089	1,013	1,900	873	1,336	1,442	672	472	1,269	1,573	19,762
1日平均	242	59	44	38	73	34	50	58	28	20	53	61	64

#### 【平成18年度（開館日：302日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	873	381	297	405	381	209	127	159	125	150	157	175	3,439
一般	5,952	4,069	2,138	1,306	938	630	801	1,040	420	416	646	589	23,044
高大	43	87	21	19	57	6	2	7	3	0	13	29	287
小中	1,049	887	192	229	199	29	31	39	18	29	126	93	2,921
その他	7,210	2,493	1,516	1,147	630	346	353	740	208	186	454	364	15,647
計	15,127	7,917	4,164	3,106	2,205	1,220	1,314	1,985	774	781	1,396	1,250	41,239
1日平均	560	377	160	115	85	47	49	79	34	34	58	46	137

#### 【平成19年度（開館日：310日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	236	134	261	342	161	94	103	67	51	31	12	49	1,541
一般	1,512	812	454	458	632	577	829	838	340	169	318	663	7,602
高大	10	12	2	16	48	57	10	4	6	8	33	12	218
小中	141	65	17	42	135	40	29	24	21	33	91	143	781
その他	1,591	341	244	362	840	528	672	679	342	365	380	650	6,994
計	3,490	1,364	978	1,220	1,816	1,296	1,643	1,612	760	606	834	1,517	17,136
1日平均	130	53	38	45	70	50	63	62	33	26	33	56	56



参) 過去平成8年度～平成15年度の開館日数及び利用者数

年 度	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15
開館日数(日)	123	307	307	308	307	308	310	308
利用者数(人)	15,803	38,738	31,034	26,722	29,178	31,087	31,047	24,532
1日平均(人)	128	126	101	86	95	100	100	80

#### 4. 施設管理

##### (1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理を但東町シルバー人材センターに年間委託している。本年度はボランティアで行っていただいた活動も含め3回の雑草除去作業を行った。

また、博物館協会の皆さんにも芝生や植木の管理など館外の美化に協力をいただいた。

#### 5. 博物館協力会

博物館協会は当館が位置する資母地区の住民から「いつまでも美しい建物にしよう」という声上がり、加藤廣巳氏と塩川剛三氏の呼びかけで、平成9年2月10日に発足した。会長は博物館が位置している如布区長がこれにあたり、周辺地域の区長や各団体の長が理事として連なる。また、資母地区選出市議会議員、博物館職員OBが顧問となる役員構成になっている。

平成19年の活動内容は以下のとおりである。

##### (1) 役員

会長 福田 俊文 常任理事 塩川 剛三

理事 13名 顧問 8名

(任期：平成19年1月1日～19年12月31日)

##### (2) 活動内容

###### ① 各種事業への協力

博物館が行う各種事業への協力をいただいた。

###### ② 特産物販売所の管理・運営

4月8日から11月22日まで延べ47日、博物館前の販売所にて観光案内と物産販売を行い、ボランティア延べ100名の協力を得た。

###### ③ 博物館入館者への野菜の無償提供

###### ④ 芝生広場除草ボランティア

敷地内芝生広場の除草作業を年間2回ボランティアで行っていただいた。

## 6. 各種委員会委員等の受諾

平成 19 年度に博物館職員が委嘱を受けた各種委員会、協会役員等は次のとおり。

金津 匡伸

- ① 兵庫県博物館協会理事（平成 14 年 4 月～）
- ② 但馬博物館連絡会会長（平成 18 年 6 月～）
- ③ 国史跡茶すり山古墳整備委員会委員  
（平成 17 年 8 月～）
- ④ 出石川オオサンショウウオ保護委員会オブザーバー  
（平成 17 年 7 月～）

## 7. 博物館ネットワーク

### (1) 兵庫県博物館協会

兵庫県内の博物館・美術館・資料館で構成され、現在 142 館が加盟している。県立歴史博物館が事務局館を務めている。当館は平成 14 年 4 月より理事館になっている。

- |                   |             |
|-------------------|-------------|
| 平成 19 年 5 月 24 日  | 第 1 回理事会    |
| 平成 19 年 5 月 31 日  | 総会、第 1 回研修会 |
| 平成 19 年 10 月 26 日 | 第 2 回理事会    |
| 平成 19 年 11 月 21 日 | 第 2 回研修会    |
| 平成 20 年 2 月 29 日  | 研究会         |
- ・会員名簿の作成
  - ・夏のイベント情報公開
  - ・はくぶつかんガイドの作成・配布
  - ・ホームページの更新

### (2) 但馬地域博物館連絡会

兵庫県北部に位置している但馬管内の博物館施設が相互協力して博物館活動の振興を図るため、平成 9 年 4 月 25 日に設立され、平成 19 年 3 月末現在では 16 館が加盟している。当館は平成 9 年 4 月に加盟し、その後幹事館となり、平成 18 年 6 月より当館が事務局を務めている。

- |                  |     |
|------------------|-----|
| 平成 19 年 6 月 4 日  | 委員会 |
| 平成 19 年 6 月 11 日 | 総会  |
| 平成 20 年 3 月 11 日 | 研修会 |
- ・パンフレット・ポスター等の相互配布・掲示
  - ・ホームページの管理
  - ・外部諸団体への広報活動

## 8. 博物館日誌抄

平成 19 年度の主な出来事を日報より抜粋して記載する。

- |          |   |
|----------|---|
| 4 月 1 日  | 岸本清氏（いなみ野学園教授）、デンゲル氏（神戸外大留学生）来館                                 |
| 4 月 2 日  | いなみ野学園 OB 文 2 みみの会 20 名来館                                       |
| 4 月 3 日  | 外壁工事検査<br>但馬県民局県整備部部長佐々木良作氏退任あいさつ                               |
| 4 月 13 日 | チューリップまつり開園（～ 4/24）<br>奥田副市长来館                                  |
| 4 月 14 日 | 中貝市長・奥様、コウノトリ文化館松島館長来館  |
| 4 月 16 日 | 丹波市国際交流協会足立氏外 5 名来館   |
| 4 月 17 日 | 企画展展示替  |
| 4 月 19 日 | 第 35 回企画展「チンギスハンとモンゴル建国 800 年」開催（～ 7/17）<br>白鹿記念酒造博物館山下氏外 1 名来館 |
| 4 月 20 日 | 豊岡市立小坂保育園 34 名来館  |
| 4 月 26 日 | 福知山市教育委員会事務局生涯学習課長大槻敏彦氏ゲル貸出引取                                   |
| 4 月 27 日 | 竹野スノーケルセンター本庄四郎氏来館  |
| 4 月 30 日 | 兵庫県立豊岡高等学校安積秀幸校長外 2 名来館   |
| 5 月 11 日 | 兵庫県教育委員会山本誠氏来館  |
| 5 月 13 日 | 鶴岡区子ども会 65 名来館  |
| 5 月 19 日 | 神鋼環境ソリューション労働組合 6 名来館   |
| 5 月 22 日 | 豊岡市立資母保育園 15 名来館  |
| 5 月 27 日 | 永楽子ども会 27 名来館   |
| 5 月 28 日 | トライやるウィーク（～ 6/1）豊岡市立豊岡北中学校より 5 名                                |
| 5 月 31 日 | 朝日新聞「トライやるウィーク」取材   |
| 6 月 4 日  | 但馬地域博物館連絡会役員会開催   |
| 6 月 9 日  | 新日本海新聞企画展取材   |
| 6 月 11 日 | 但馬博物館協会総会開催   |
| 6 月 12 日 | みてやま学園来館  |
| 6 月 16 日 | 資母地区公民館（地域の宝を探そう会）9 名来館   |
| 6 月 19 日 | 豊岡市立資母小学校 2 年 6 名社会学習来館   |
| 6 月 21 日 | 消防設備点検<br>豊岡市立資母小学校 6 年 16 名、自然と文化の探検団 20 名来館、朝顔植付              |

7月1日	如布区 草取ボランティア	9月21日	放送大学 39名来館
7月2日	NTT西日本 主装置、蓄電池点検、図書入替作業	9月23日	松浦市立鷹島埋蔵文化財センター松尾昭子氏来館
7月9日	豊岡市議会文教委員会7名視察	9月24日	ぶなっ子クラブ事業開催
7月12日	県立学校但馬地区教頭会17名開催、図書入替作業	9月29日	はとのさと保育園 29名来館
7月13日	RSK山陽放 6名取材	10月4日	豊岡市立資母保育園 22名来館
7月17日	ガラス清掃	10月5日	モンゴル研修生 12名来豊(～15日)
7月18日	展示替	10月6日	モンゴル研修生コップづくり(絵付け)体験
7月19日	第36回企画展「生きた化石 オオサンショウウオ」開催(～9/11) 豊岡市役所国際交流協会・日本国際交流センター打ち合わせ来館	10月7日	読売新聞企画展取材 広東省学生訪問団 50名来館 如布神楽披露
7月20日	読売新聞企画展取材	10月8日	モンゴル研修生ウエルカムパーティ開催
7月24日	桧山公民館 68名来館	10月9日	豊岡市立竹野公民館、但馬県民局文教府来館
7月26日	「おもちゃを作って遊ぼう」教室開催	10月11日	与謝郡伊根町立伊根小学校 5年生 13名校外学習
7月27日	「オリジナルカップを作ろう」教室開催	10月15日	モンゴル研修生帰国
7月30日	「先生のトライやる」2名受け入れ(～8/2)	10月16日	明石市高齢者大学野々池学級 34名来館
7月31日	京都幼児教室 50名来館、矢根大石家古文書調査(神戸大学9名)	10月19日	豊岡市立豊岡小学校 3年生 96名校外学習来館
8月2日	「鳥のおもちゃづくり」教室開催	10月22日	豊岡市立資母小学校 6年生 6名校外学習
8月3日	豊岡市南地区幼稚園連絡会 24名開催、ワークショップ「オオサンショウウオの暮らしと生態」開催	10月25日	会計事務検査
8月4日	ワークショップ「アベサンショウウオについて」開催	10月28日	大木町第一隣保 14名来館
8月5日	ワークショップ「オオサンショウウオづくり」教室開催	10月30日	明石シニアカレッジ 70名来館
8月6日	「先生のトライやる」2名受け入れ(～8/9)	11月2日	京丹後市立野間小学校 1～3年 6名校外学習
8月10日	畑山ひまわり園開催(～17日)	11月6日	大阪但東会 12名来館
8月12日	モンゴル人留学生ガンバートル氏来館	11月8日	県立豊岡高等学校安積校長外 2名来館
8月13日	「七宝焼教室」「ナイトミュージアム」開催	11月10日	神戸新聞企画展取材
8月17日	「勾玉づくり教室」開催	11月17日	「関西文化の日」無料開放(～18日)
8月20日	「勾玉づくり教室」開催 但馬山友会 32名来館	11月18日	モンゴル国高校生 23名来館
8月24日	八戸工業大学教授高島成侑氏御夫妻来館 「バードカービング」教室開催 館長モンゴルツアーへ(～30日)	11月29日	県立豊岡高等学校安積校長外 1名来館
9月8日	大石家調査(神戸大学)	12月6日	第38回「子の成長を願う但馬の年中行事」開催(～4/8)
9月13日	第37回企画展「世界の鳥～その色と形～」開催(～12/4)	12月7日	京都新聞社編集本部井上理砂子氏取材
9月15日	シルバー人材センター草取り作業	12月15日	朝来市立和田山郷土歴史館柴田館長来館
9月18日	神鋼環境ソリューション関谷氏外 1名来館	12月17日	朝日新聞社企画展取材
9月19日	全館フロアー清掃	12月23日	馬頭琴演奏体験開催
		12月24日	神戸新聞社企画展取材
		1月11日	るんるんテレビ企画展取材
		1月15日	豊岡市立図書館(3名)図書整理・点検、豊岡国際交流協会水谷保昭氏来館、産経新聞取材
		1月20日	とよおか子ども野生復帰大作戦大人カリキュラム開催(35名)、神戸新聞社取材
		1月27日	とよおか子ども野生復帰大作戦子どもカリ

キュラム開催（109名）、馬頭琴演奏体験実施、国指定文化財日出神社文化財防火デー消防訓練開催参加（館長・山本）

1月29日 京丹後市丹波小学校2年生21名校外学習

2月1日 豊岡市立小野小学校1・2年34名校外学習

2月3日 絵馬 但馬天満宮へ奉納

2月7日 豊岡市立資母小学校3年生13名校外学習

2月10日 馬頭琴演奏体験実施

2月12日 豊岡市立福住小学校2年生24名校外学習

2月14日 京丹後市立溝谷小学校2年生13名校外学習

2月19日 京丹後市立吉野小学校2年生5名校外学習、細井千裕氏来館

2月20日 フロアー清掃

2月21日 京丹後市吉原小学校2年生25名校外学習

2月24日 馬頭琴演奏体験実施

2月25日 西村幹也氏・ネルグイ氏・クグルシン氏来館

2月26日 豊岡市立資母小学校2年生12名校外学習

2月28日 京丹後市立田村小学校2年生7名校外学習、県立出石特別支援学校高等部19名校外学習

2月29日 京丹後市立神野小学校2年生8名校外学習

3月1日 奥田副市長来館

3月3日 豊岡市立弘道小学校2年生30名校外学習

3月6日 京丹後市立川上小学校2年生11名校外学習、豊岡市立合橋小学校3年生17名校外学習

3月7日 豊岡市立寺坂小学校2年生6名校外学習

3月9日 馬頭琴演奏体験実施

3月13日 与謝野町立市場小学校2年生40名校外学習

3月14日 京丹後市立黒部小学校2年生18名校外学習

3月19日 ガラス・外壁清掃

3月20日 神戸新聞取材

3月24日 毎日新聞取材

3月31日 朝日新聞取材、合橋小学校・但東中学校転任あいさつ

## 9. お客様の声から抜粋

以下は平成19年度の来館者の声を抜粋したもので、博物館職員として真摯に受け止め今後の運営に活かしたいと考えている。

- ◎ 4月2日 兵庫県豊岡市（女性）  
プレーリードッグがすごくかわいかったです。昔の家のこともわかって楽しかったです。本もおもしろい本があって読みやすかったです。
- ◎ 4月2日 兵庫県豊岡市（女性）  
もうちょっとあってもよい。
- ◎ 4月6日 兵庫県朝来市（男性）  
学校に博物館の人が来たので来ました。楽しかったです。
- ◎ 4月7日 京都府福知山市（女性）  
子どもが小学校でスーホの白い馬を勉強してきて、馬頭琴が見たいというので見れてよかったです。私はモンゴル民族の宗教の所がとてもよかったです。
- ◎ 4月7日 京都府福知山市（女性）  
ばとうきんやいろんなものが見れてよかったです。
- ◎ 4月13日 京都府与謝郡（男性）  
4月13日は特別な日に来て駐車場が遠くなり大変でした。仕方ないです。今日は4人で来館しました。
- ◎ 4月15日 兵庫県豊岡市（女性）  
説明が分かりやすかったです。プレーリードッグかわいー。
- ◎ 4月21日 兵庫県豊岡市（女性）  
モンゴルの服が着れると楽しみにしていたのに、着れなくてとても残念でした。
- ◎ 5月4日 愛知県（男性）  
もっといろいろなものにさわりたい。
- ◎ 5月5日 兵庫県神崎郡（女性）  
素晴らしく思い、大変良かった。5年前くらいに知ったのですが、遠くて来られず、そのうちに忘れてしまい、やっと友人に連れてきてもらい2人とも本物を見て色鮮やかさ、部屋の狭さにおどろき、モンゴルを肌で感じ、（モンゴル国に）行きたいと思いました。
- ◎ 5月6日 兵庫県西脇市（男性）  
今のままでは地方自治体のお荷物になる。もっと日本との歴史的関係を強調することや、親子連れが来るようにイベントを考える必要がある。
- ◎ 5月6日 大阪府大阪市（女性）  
もっと世間にアピールすればもっと人が入ると思う。モンゴルの食べ物が食べたい。
- ◎ 6月8日 京都府伏見区（男性）  
多くの方々に見ていただくための工夫をし、また税

金のムダ遣い分を当館の維持費に充てるなどして100円くらいで入館できるようになればいい。

◎ 6月24日 京都府福知山市 (男性)

チンギスハンやフビライハンが戦った大きな戦争についてもっと詳しく教えてほしい。アイヌやイスラムの土器等モンゴルとはかけ離れたものが置いてあり、頭が混乱するのでやめてほしい。逆に、但東の史跡(亀ヶ城等)についてコーナーをもっと設けてほしい。

◎ 7月1日 兵庫県豊岡市 (女性)

プレーリードッグを毎回楽しみにしているのですが、今日も見られました。

◎ 7月13日 大阪府大阪市 (女性)

すごく感動しました。また来館させていただきます。

◎ 7月13日 兵庫県豊岡市 (女性)

久しぶりに娘が帰省したのでまいりました。娘も感動して、ゆったりと時が流れました。またまいらせて下さい。

◎ 7月15日 (男性)

田舎にある施設にしては内容が素晴らしい。ゆっくりと見ることもでき、もっと知名度を高めてほしいと思った。

◎ 7月15日 京都府亀岡市 (男性)

ゲルの展示や民族衣装を着ることができて良かった。あまり知らないモンゴルに興味をわいた。体験や手に取ることでできるものを増やしてほしい。

◎ 7月16日 京都府綾部市 (女性)

館内を案内していただき、感謝しています。

◎ 7月21日 兵庫県加西市 (女性)

学校の自由研究にいかしたいです。

◎ 7月31日 兵庫県加古川市 (女性)

2回目ですが、何年か前に来た時よりも充実しているように思います。

◎ 8月5日 兵庫県豊岡市 (女性)

オオサンショウウオがとてもよかった。川の流れなどがとてもよくできていた。

◎ 8月10日 京都府向日市 (男性)

オオサンショウウオの着ぐるみやゲルの中での試着など楽しかった。出口付近で近所のお子さんが遊んでいるのもゆったりした気分になりました。

◎ 8月11日 兵庫県西宮市 (男性)

これほどの展示物がさらに沢山の人に活用されることを祈ります。

◎ 8月11日 兵庫県西宮市 (女性)

職員の方がとてもいねに説明してくださり、モンゴルのことをよく理解することができました。楽しかったです。

◎ 8月13日 大阪府池田市 (男性)

モンゴルやその他の周辺国との関わりなどの説明を聞き、体験貴重な体験ができました。また家族にも話したいと思います。

◎ 8月13日 福島県南相馬市 (女性)

モンゴルのいろんなことがわかってベンキょうになった。プレーリードッグがかわいかったです。

◎ 8月14日 広島県広島市 (女性)

ゲルの生活やモンゴルの服など触れることができ面白かった。相方の実家へ帰省のついでに足を運びました。スタンプ、ありがとうございました。

◎ 8月14日 広島県広島市 (女性)

モンゴルずもうの服も着れるといいな。

◎ 8月16日 兵庫県豊岡市 (女性)

オオサンショウウオのきぐるみがかわいい。とても暑かった。

◎ 8月16日 兵庫県豊岡市 (女性)

とても良かったです。楽しかったです。プレーリードッグがかわいかったです。

◎ 8月16日 大阪府大阪市 (女性)

民族衣装、1着しか着ることが出来ないのは少し残念(前は自由に選べたので…展示しているので仕方ないですね。)

◎ 8月16日 京都府京都市 (女性)

子どもがサンショウウオになって喜んでいました。以前は民族衣装だったので、今回もそれを着るつもりで来ましたが、斜面を上がったり岩にかくれたり、楽しませてもらいました。

◎ 8月17日 兵庫県豊岡市 (男性)

モンゴルの文物の販売についての情報を知りたいです。

◎ 8月18日 兵庫県養父市 (女性)

モンゴル民族の衣装が着られたのが思い出に残りました。オオサンショウウオは本物が見られればもっと良かったと思います。

◎ 8月18日 兵庫県養父市 (女性)

モンゴルの家が再現してあり、体験できたのがとても良かったです。

◎ 8月19日 神奈川県横浜市 (女性)

お茶やお菓子もおいてください。

◎ 8月23日 兵庫県三田市 (男性)

いろいろあって面白かった。

◎ 9月2日 兵庫県姫路市 (男性)

本物のオオサンショウウオがいれば、もっとよかった。

◎ 9月3日 大阪府枚方市 (女性)

神戸に帰ってきているので、親戚、家族と一緒に来ました。モンゴルと出会って15年、やっと来られて

感激です。文字、チベット仏教、食器など、テーマ別の展示が分かりやすく、親戚も興味を持ってもらい嬉しく思いました。

- ◎ 9月8日 兵庫県美方郡(男性)  
企画展を見て、あんなにオオサンショウウオが川に  
いるとは思わなかったし、子どもがきぐるみを着て面  
白いと大喜びです。
- ◎ 9月9日 京都府宮津市(女性)  
丁寧に笑顔で対応して頂きました。ありがとうございます。  
6年位前に一度来ましたが、ずいぶん変わっ  
ていました。びっくりしました。モンゴルのことだけ  
でなく、地域のこと、昔の展示もあり、小さい幼児で  
も一緒にゆっくりと楽しめました。外もすてきですね。
- ◎ 9月10日 京都府京丹後市(男性)  
何度見学しても、その都度参考になる事がたくさん  
あります。
- ◎ 9月22日 大阪府大阪市(男性)  
次の世代を負うモンゴルの子どもたちの会が展示も  
お考えいただいているのかどうか。子どもたちを連れ  
て大人の方々も来館されるのではないかと。
- ◎ 10月27日 兵庫県川西市(女性)  
モンゴル衣装を着せてもらい、楽しく遊べました。  
ロビーの横で小学生の子どもたちがずっと遊んでいる  
のはいかがなものでしょうか。注意したほうがいいと  
思います。
- ◎ 10月29日 兵庫県神戸市(男性)  
モンゴルの現在の様子や、向こうの週間雑誌、新聞  
も見てみたかった。
- ◎ 11月3日 兵庫県神戸市(男性)  
ODAの活動で26日からウブスに行ってきます。
- ◎ 11月4日 大阪府大阪市(女性)  
初めて来館しましたが、非常によかったです。モン  
ゴルのこともよく分かりました。説明が分かりやすいし、  
おもしろかったです。来てみて非常によかったです。あ  
りがとうございました。
- ◎ 12月2日 京都府京丹後市(男性)  
度々案内状を送っていただき嬉しいです。企画の展  
示物、楽しみです。いい企画に感服。
- ◎ 1月5日 京都府京都市(女性)  
子ども(小2)がスーホの白い馬を習ったので来ま  
した。実際に見て、触れて、改めて学ぶことも多かつ  
たようです。
- ◎ 1月26日 兵庫県神戸市(女性)  
服が着られたのがよかった。
- ◎ 2月17日 兵庫県豊岡市(女性)  
子どもが小2で国語の授業で「スーホの白い馬」を  
習って、興味を持ち、子どもが「行ってみたい」と希

望して来館しました。予想以上の施設の美麗さと、展  
示物の多さ、などにすごく好感を持ちました。もっと  
多くの方に知ってほしい博物館です。

- ◎ 2月22日 大阪府東大阪市(女性)  
有意義な楽しい一刻をすごせました。どうもありが  
とう。
- ◎ 2月23日 兵庫県豊岡市(女性)  
おはじきゲームが、馬やラクダをおぼえるのが大変  
だったけど、おもしろかった。
- ◎ 2月26日 京都府福知山市(男性)  
よく整理整頓され、気持ちよく見学できました。ゲ  
ル内のビデオも大変よかったです。
- ◎ 3月2日 和歌山県和歌山市(男性)  
ひな祭りの季節で、丁度ひな飾りを見せて頂き、心  
がなごみました。
- ◎ 3月2日 三重県名張市(男性)  
姉妹都市を益々発展させてください。
- ◎ 3月8日 兵庫県豊岡市(女性)  
いろいろとモンゴルのことについて大変よく分かり  
ました。
- ◎ 3月9日 京都府京丹後市(女性)  
はじめてだったのでとてもよかったです。馬頭きん  
をひいたのは2回目だったけど、もう一回ひけてよ  
かったです。モンゴルのことがいっぱい分かってよ  
かったです。
- ◎ 3月11日 兵庫県豊岡市(男性)  
きょうりゅうのかせきはモンゴルからとってきまし  
たか？
- ◎ 3月20日 京都府京丹後市(男性)  
年に数回、モンゴルの食イベントを開催してくださ  
い。但馬の物展と併せて。

## 10. 日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例

施行：平成 17 年 4 月 1 日

条例第 179 号

(設置)

第 1 条 市民文化を振興し、文化活動の拠点とするとともに、モンゴル文化及び郷土の生活文化の紹介、体験交流等を通して魅力ある地域づくりを図るため、日本・モンゴル民族博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(位置)

第 2 条 博物館の位置は、豊岡市但東町中山 711 番地とする。

(事業)

第 3 条 博物館は、第 1 条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館の資料の収集、保管及び利用に関すること。
- (2) 博物館の資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (3) 博物館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館の資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導をすること。
- (5) 博物館の資料に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (6) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (7) 郷土の生活文化の紹介及び体験交流に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業

2 豊岡市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、博物館の施設を、前項の事業の実施に支障のない限りにおいて、その目的以外の目的のために使用させることができる。

(職員)

第 4 条 博物館に、館長その他職員を置く。

(観覧料)

第 5 条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第 6 条 博物館に展示し、又は保管している資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、教育委員会の許可を受け、1 点 1 回につき 2,000 円の範囲内で規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(使用の許可)

第 7 条 別表第 2 に掲げる施設を使用しようとする者

は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、前項の許可に博物館の管理上必要な条件を付し、又はこれを変更することができる。

(許可の基準)

第 8 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第 1 項の許可をしてはならない。

- (1) 博物館の施設の使用が公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 博物館の施設の使用が博物館の建物、器具、備品等(以下「建物等」という。)を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成 3 年法律第 77 号)第 2 条第 2 号に規定する暴力団その他反社会的団体又はそれらの構成員が使用すると認めるとき。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、教育委員会がその使用を不適當であると認めるとき。

2 教育委員会は、博物館の管理上又は公益上支障があると認めるときは、前条第 1 項の許可をしないことができる。

(使用権の譲渡等の禁止)

第 9 条 第 7 条第 1 項の規定により施設の使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第 10 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可を取り消し、又は施設の使用の制限をし、若しくは使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 使用者が許可された使用目的以外の目的に施設を使用したとき。
- (3) 使用者が許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 使用者が詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。
- (5) 第 8 条第 1 項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

2 教育委員会は、博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたときは、使用者に対し、前項に規定する処分をすることができる。

(使用料の徴収)

第 11 条 市長は、第 7 条第 1 項の許可を受けてする施設の使用につき、使用者から、別表第 2 に定める使用料を徴収する。

(観覧料等の減免)

第 12 条 市長は、公益上特に必要があると認めるときは、申請により、観覧料、特別観覧料及び使用料(以

下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第13条 既に納めた観覧料等は、還付しない。ただし、第10条第2項の規定により教育委員会が博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたとして同条第1項に規定する処分をしたとき、その他市長が特別の理由があると認めるときは、申請により、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限等)

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、博物館への入館を拒絶し、又は博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物品若しくは動物の類を携帯する者
- (3) 建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがある者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上必要な指示に従わない者

(行為の禁止)

第15条 何人も、博物館内において、博物館の管理上支障がある行為をしてはならない。

(原状回復の義務)

第16条 使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき、又は第7条第1項の許可を取り消されたときは、直ちに施設を原状に回復しなければならない。

2 教育委員会は、使用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置を採るべきことを命ずることができる。

(損害の賠償等)

第17条 博物館の建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させた者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事情があると認めるときは、その賠償額を減額し、又はこれを免除することができる。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理運営に関する条例(平成8年但東町条例第21号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(観覧料の特例)

3 第5条の規定は、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの間においては、合併前の出石郡但東町の区域に居住する者が博物館を観覧するときは、適用しない。

別表第1(第5条関係)

区 分	観覧料(1人1回につき)		備 考
	個 人	20人以上の団体	
一 般	500円	450円	「一般」とは学生、中学生又は小学生以外の者で、15歳以上のものをいい、「学生」とは大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。
学 生	300円	250円	
小学生・中学生	200円	150円	

別表第2(第7条、第11条関係)

区 分	使 用 料		
	午前9時から午後零時まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで
企 画 展 示 室	1,500円	2,000円	
体験交流室(1人につき)	100円	200円	200円
天幕住居(ゲル)	1基につき5,000円		
備 考	1 冷暖房を使用する場合は、この表に規定するそれぞれの額の3割に相当する額を加算する。 2 電気窯の使用料は、1回当たり1,000円とする。		

## 11. 施設概要

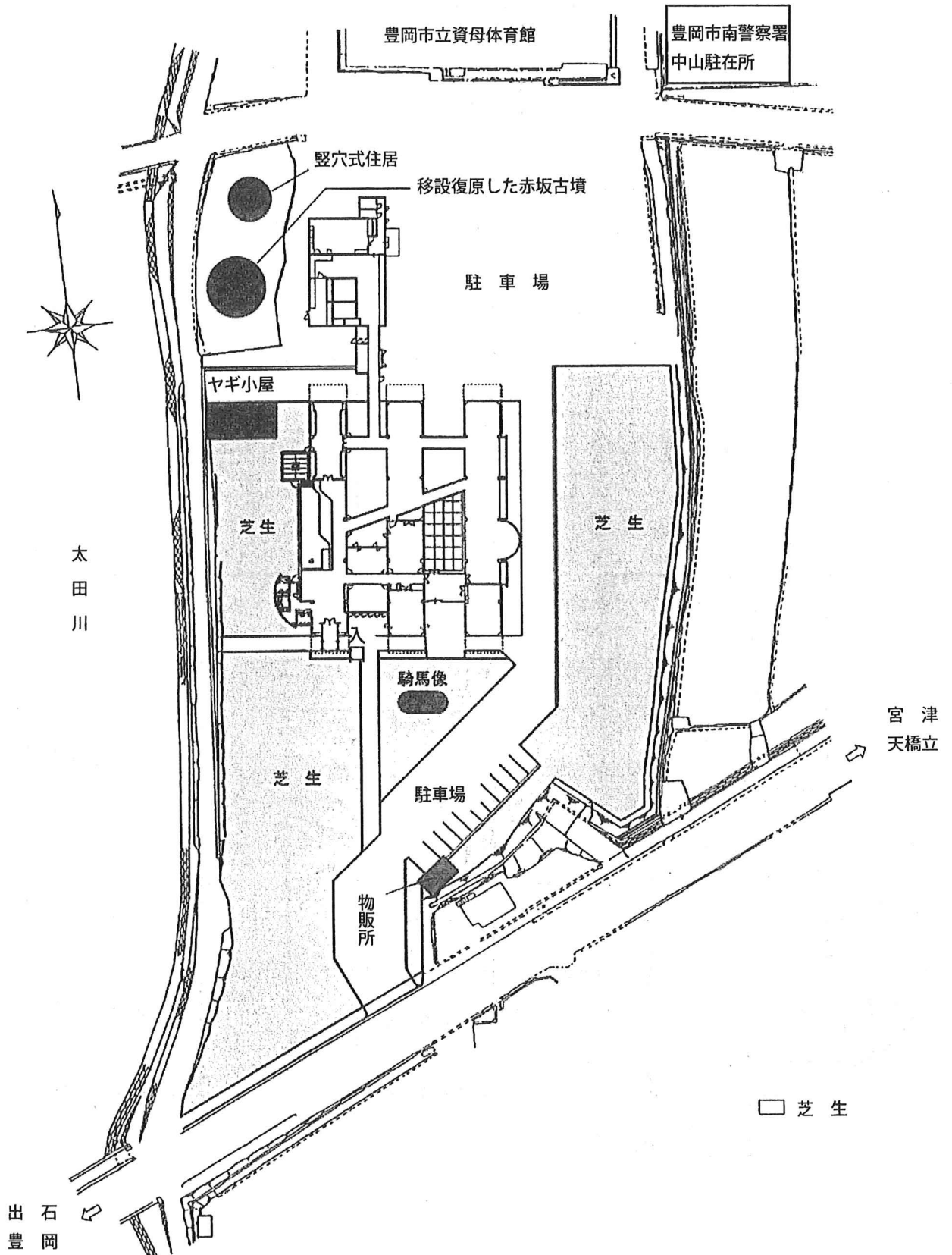
### (1) 本館建設概要

位 置	兵庫県豊岡市但東町中山 711
基本設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
実施設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
工事施工	建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体 展示 株式会社さんよう
工 期	建物 着工 平成 7 年 12 月 14 日  竣工 平成 8 年 8 月 12 日 展示 着工 平成 8 年 5 月 7 日 竣工 平成 8 年 10 月 30 日
敷地面積	
建築面積	10,402.84 m <sup>2</sup>
構造概要	999.65 m <sup>2</sup> 鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦棒葺
各室面積	立体トラス鉄骨 (KT トラス) 玄関ホール・たんとうの森 211.6 m <sup>2</sup> 、 収蔵庫 1 54.6 m <sup>2</sup> 、収蔵庫 2 56.5 m <sup>2</sup> 、 荷解室 33.3 m <sup>2</sup> 、多用途室 28.0 m <sup>2</sup> 、 事務室 33.3 m <sup>2</sup> 、準備室 48.2 m <sup>2</sup> 展示室「アジアの歴史」 75.7 m <sup>2</sup> 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」 206.8 m <sup>2</sup> 展示室「チベット仏教」 37.7 m <sup>2</sup> 企画展示室 74.4 m <sup>2</sup> シルクロード (回廊) 1 13.3 m <sup>2</sup> 、シル クロード (回廊) 2 13.3 m <sup>2</sup> 、シルクロ ード (回廊) 3 12.6 m <sup>2</sup> 、シルクロード (回 廊) 4 12.6 m <sup>2</sup>
建物規模	平屋建て 東西 41.8m 南北 42.5m
仕 上 げ	地上高 9.0 m 〈外装〉 複層吹付 〈内装〉 床 : モルタル下地タイルカー ペット貼 壁 : 山本窯業化学テラックス、 石膏ボード、化粧合板 天井 : 杉小幅板、岩綿吸音板貼

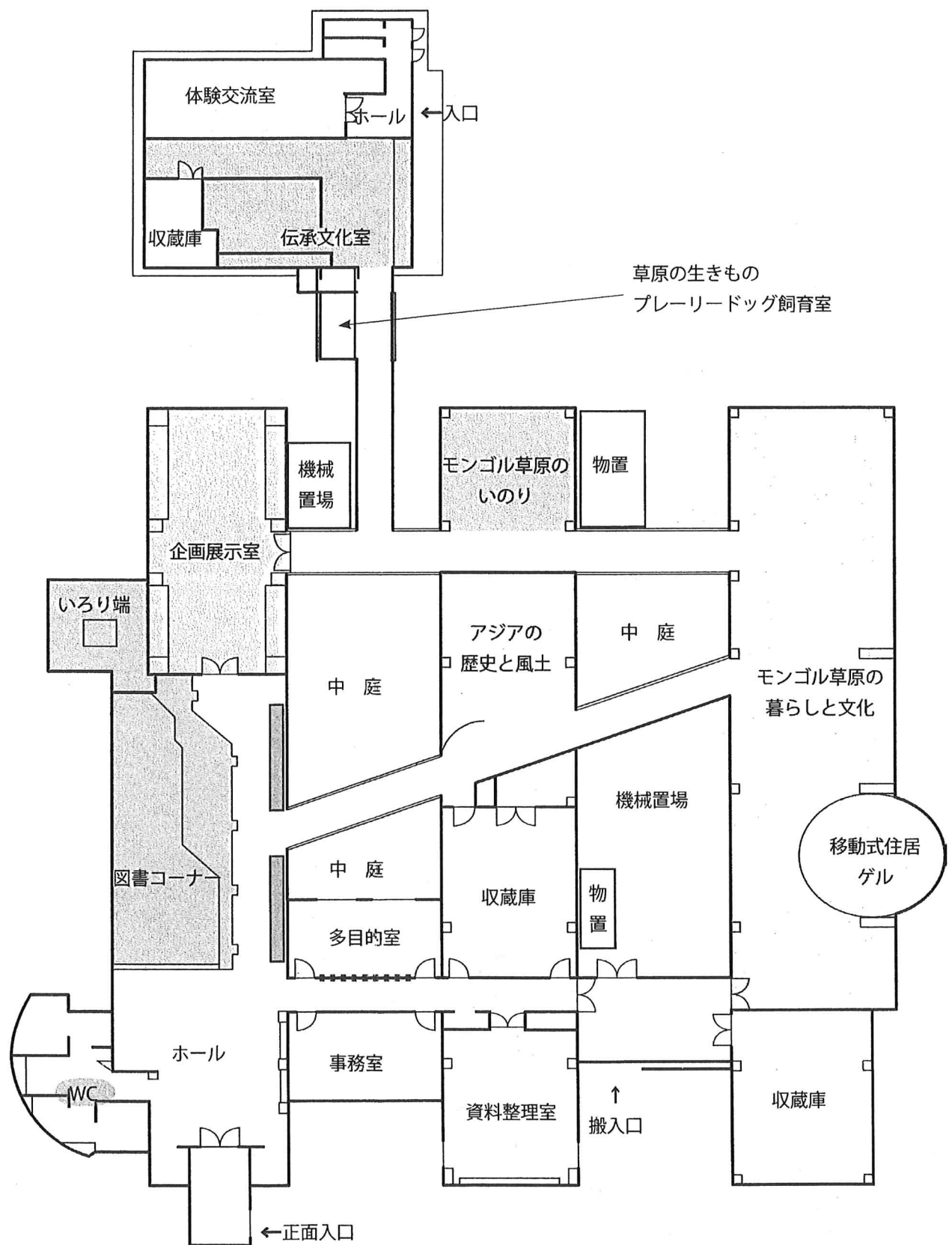
### (2) 伝承文化体験交流館建設概要

位 置	兵庫県豊岡市但東町中山 711
基本設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
実施設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
工事施工	建物 株式会社マルテン 展示 株式会社ナギサ建築工芸
工 期	建物・展示 着工 平成 11 年 9 月 14 日 竣工 平成 12 年 3 月 29 日
建築面積	317.57 m <sup>2</sup>
構造概要	一部鉄筋コンクリート造 木造瓦葺
各室面積	体験交流室 62.6 m <sup>2</sup> 、展示室「豊岡市 たんとうの暮らしと文化」 112.5 m <sup>2</sup> 、 シルクロード (回廊) 5 36.4 m <sup>2</sup> 、収蔵 庫 27.2 m <sup>2</sup>
建物規模	平屋建て 東西 12.8m 南北 21.2m 地上高 7.1 m
仕 上 げ	〈外装〉 押出形成セメント板 〈内装〉 床 : モルタル下地タイルカー ペット貼 壁 : ビニルクロス貼 一部杉 板張 天井 : 化粧 P B 張 一部杉板張

(3) 配置図



(4) 館内図





示のお手伝いは何回か経験させていただきました。そんな中、私は平成19年度に初めて企画展の担当をさせていただき事となりました。企画展の内容は、日本玩具博物館より資料をお借りし開催する事は決定していました。しかし、企画展のネーミングやパネルの文言・大きさ等決めなければいけない事も多くあり、経験不足な私は準備も思うように進まず焦る事も多々ありました。

展示替当日は、私の準備不足もあり博物館職員の方々に遅い時間までお世話になりながら、無事37回企画展『世界の鳥～その色と形～』の展示が終了し開催の運びとなりました。

今まで資料を外部から借用し、企画展を開催するという事は簡単な事のように感じていました。しかし、『日本・モンゴル民族博物館』として資料借用しているという事の意味の重さ・貸して下さった相手の資料に対する思い等、今まで気付かなかった大きな意味合いを改めて感じる経験となりました。

(柴田明子)

■ 石の上にも3年。この言葉を背負って1年、2年、3年、瞬く間に過ぎてしまいました。ことわざ通りにはいかないものです。

出前授業、館内の説明、体験教室等を経験する中で、時には「落ち込んでみたり」「喜んでみたり」の繰り返しではありましたが、子どもたちやお客様から暖かい言葉をいただいた時はホッとします。来館されたお客様から元気をももらうこともしばしばあります。

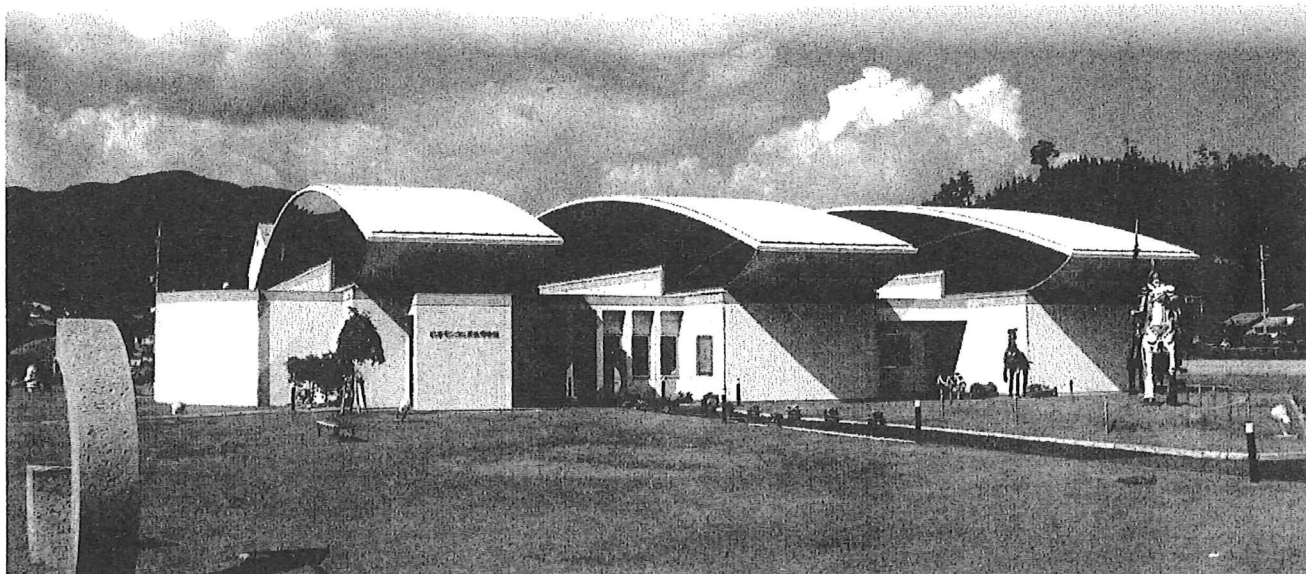
博物館では、色々な方との出会いがあります。今年もモンゴルの方を、我が家でホームステイを受けることになり、少しの時間でしたが楽しいひと時を過ごすことができました。異文化に触れる機会が持て、少しずつモンゴルに近づけるような気がします。

これからも来館して下さったお客様にモンゴルの魅力を届けて行きたいと思います。

(橋本真紀恵)

■ 平成19年度は博物館のホームページリニューアルに伴い、内容の変更や更新作業をすることが多くなりました。ホームページは博物館に興味をもっていた人が見るものなので、責任重大な作業です。しかし、ホームページを作った事も無くソフトの使い方も分からなかったので、本を片手に大苦戦しながら作業を進めました。1ページ作るのに何日もかかりました。普段、何気なく見ていた他の博物館や色々なホームページが、こんなに苦労して作ってあるんだなぁと思うと、今まで見ていなかった部分まで気になって見るようになりました。いいと思うものを同じように作ろうとやってみても、なかなか思うようにできません。でも、たくさん悩んでやっと1ページできたときの達成感はとても大きかったです。

(渡辺明子)



日本・モンゴル民族博物館年報第 10 号

Annual Report of the Japan Mongolia Folk Museum  
No.10 (for the fiscal year of 2007)

〒 668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山 711  
711Nakayama.Tanto-Town,Toyooka-city,Hyogo Pref. 668-0345 Japan  
TEL (0796)56-1000 / FAX (0796)56-1022  
URL <http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>  
Email [monpaku@city.toyooka.lg.jp](mailto:monpaku@city.toyooka.lg.jp)

発行/日本・モンゴル民族博物館  
平成 20 年 3 月 31 日発行